



中山間地域の多面的機能のイメージ（出典：農林水産省ホームページ）

# 中山間地域農業のことを知ろう

## 【シリーズ①】 中山間地域農業（棚田）がもたらす「めぐみ」

私たちにさまざまな「めぐみ」をもたらしてくれる中山間地域農業は、今、人口減少や高齢化により深刻な担い手不足などの課題を抱えています。このことについて、多くの人に知っていただくため、本号からシリーズで紹介します。

■問合せ…農村振興課中山間地域農業対策室（☎ 025-526-5111、内線 1713）

### 「中山間地域」って？

金谷、谷浜・桑取、安塚、浦川原、大島、牧、柿崎、吉川、中郷、板倉、清里、名立の各区域のことを指し、これらの区域は、市の総面積の約7割、人口の約3割、全耕地面積の約4割を占めています。



### どのような「めぐみ」があるの？

棚田など中山間地域の水田は、雨水を一時的に貯めて洪水や土砂崩れを防いでいます。また、さまざまな生き物のすみかとなっているほか、美しい農村の風景は私たちの心に癒しや安らぎを与えています。

これらを「中山間地域が持つ多面的機能」と言います（ページ上の図）。

### 中山間地域農業を考えよう

こうした「めぐみ」は、中山間地域での営みが良好に保たれていることで初めてもたらされ、平野部の生活の安全・安心も支えています。また、近年、都市部で集中豪雨が頻発していることを受け、中山間地域が持つ多面的機能の重要性やその価値を改めて見直す機会になっています。

しかし、急斜面で小さな水田は、生産条件が悪い上に平野部に比べて収穫量が少ないことなどから、中山間地域農業の担い手不足とともに、荒廃農地の増加・拡大が深刻化しています。アンケート結果を

見ても、約8割で後継者がおらず、今後3年間で約3割が離農する意向であるなど、多面的機能が目の前で失われようとしています。

お金で買うことのできない、中山間地域の農業や農村で暮らす皆さんがさまざまな「めぐみ」をもたらしていることを忘れずに、それぞれが身近なところから支えていきたいですね。

次号は、中山間地域農業の現状と展望をお伝えします。